

# 全調政連 ニュース No. 2021-2

R3. 1. 18

発行責任者 幹事長 佐々木 健

## 上川法務大臣・田所法務副大臣

### 表敬訪問

日 時 令和2年12月21日(月)13:30～場 所 法務省



菅内閣におきまして、三度目の法務大臣に就任された上川陽子法務大臣（静岡1区）を法務省法務大臣室に訪問しました。上川大臣と初当選以来とても懇意にされていられる静岡会赤堀会長、静岡政治連盟栗田会長のご尽力で実現いたしました。

上川大臣からは、「所有者不明土地問題に関しても大きく貢献して頂き、今後も国民の管理を守る為にお力添えをお願いしたい」「本日も予算が通りました。所有者不明土地問題の予算も増額されてきた。土地家屋調査士がメインになる仕事をして頂きたい。

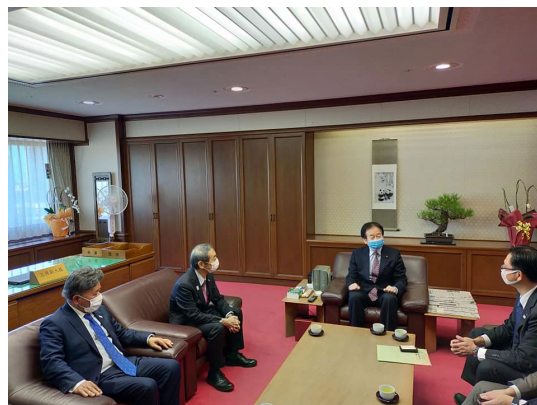
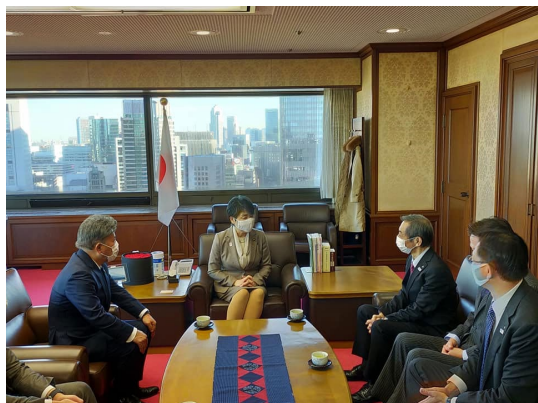
登記制度を土地家屋調査士の皆さんが守り続けていただいたので、今があるということを痛感している。皆さんの活躍の70年の積み重ねがとても大きい。」とご挨拶されました。國吉会長から、相隣関係、所有権放棄、ミャンマーの調査の件を説明されました。

椎名全調政連会長は、政治連盟 20 周年に対して上川大臣からお祝いの言葉を頂戴したお礼と、「減災防災 国土強靱化」に土地家屋調査士が貢献していきたいと話されました。



引き続き、田所法務副大臣（茨城 1 区）を法務副大臣室に訪問しました。田所副大臣からは、「官民先行型地籍調査が進んでいますね。高齢社会が進む中で、土地家屋調査士の役割はますます大きくなると思います。デジタル庁ができますので、専門職としてどんどん発信してほしい」と挨拶をされました。連合会鈴木副会長から、70 周年記念シンポジウムの報告、所有者不明土地問題と境界確定の説明をされました。田所副大臣は 1 級建築士で土地家屋調査士業務を深く理解されていました。

上川法務大臣田所法務副大臣ともに、じっくりと深い話までできました。



文：副幹事長 上田 尚彦